

月例報告	
学部	GIS
学科	GIS
国名	アメリカ
留学先	ネバダ大学リノ校
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:> Criminal Justice Department:</p> <p>CRJ 104 Introduction to Administration of Justice(3単位) CRJ 234 Introduction to Courts and American Legal System(3単位) CRJ 211 Police in America(3単位) CRJ 222 Criminal Law and Procedure(3単位)</p> <p>Sociology Department:</p> <p>SOC 435 Gender and Society(3単位) 一まだ履修できるかどうかははっきりしない (合計:12か15単位)</p> <p><語学について></p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>8月19日(日)の夕方ごろにリノに着きました。ネバダ大学にオススメされたピックアップサービスを頼んで、もう一人の派遣留学生(内海るな)と一緒に借りたAirbnbの家に連れて行ってもらいました。寮が開くまで(23日)にそちらで泊まりました。部屋に荷物を置いてから近くのファストフードへご飯を買いに行ってきました。</p> <p>早速、次の日(月)には、バスでキャンパスに行ってみました。OISSインタナショナルオフィスの担当者に挨拶し、チェックインをしました。費用のことを相談した後、保険の免状を申し込んでミールプランをキャンセルしました。ありがたいことに、約6500ドルから3275ドルに安くなりました。ミールプランだけで2500ドルは高いと思ったこともあるし、日本に比べたら一つの食事の量が2倍か3倍ぐらい大きいので、絶対に食べきれないという決断にたどりつきました。それより、好きなときで好きなものを食べて飲んだ方がいいです。お金が無駄にならなようにいらぬものはキャンセルしようと思いました。</p> <p>火曜日はNew International Graduate and Undergraduate Students Orientationに参加しました。ランチタイムは他の留学生と簡単な食事をとりコーヒーを飲みながら友達作りに動力をしました。韓国、オーストラリア、ナイジェリア、ブラジル、ドイツなど様々な国々からきた大学生と交流できました。その中、大阪出身の日本人もいました。特に、一人の韓国の女子大学生と仲良くなれました。</p> <p>一週間目の残りの期間は現地銀行の口座開設と費用を支払う方法に取り組みました。金曜日が期日でしたので3日間以内に払わないと履修登録ができなくなる可能性はありました。もし、授業登録ができなかったら派遣留学生の資格も無効になるので、ダブルリスクでした。日本からドルのキャッシュカードと円のデビットカードをどちらも持ってきましたが、せっかくだがドルが入っている口座をもっているから円より先にドルを使いたかったです。そうしたら、ドルをキャッシュカードで引き出し現地口座に移しアメリカのデビットカードで費用を払おうという提案を考えました。不幸にも、水曜日に銀行が早くに閉まりました。木曜日に口座を開けましたが、デビットカードが発行されて手元に届くまで5~7営業日がかかると銀行員に言われました。時間の余裕があまりなかったので、最終手段として3275ドルを現金で引き出しそのまま会計オフィスに持っていきました。</p> <p>解決できたとおもいましたが、ハウジングのオフィスは私の学籍状況を間違えて派遣留学生ではなく言語学生だと思い込み、ミールプランのキャンセルを削除しました(費用が再び約6000ドルになりました)。もう一度、ハウジングのオフィスと言語学生のオフィスに連絡をとってその間違いを直してもらいました。</p> <p>それで一旦落ち着きました。しかし、先週の月曜日(27日)に授業が公開し履修登録と教科書に関する悩みが現れました。結構前に登録した授業ももちろんありますが、実際に参加してみると先生の教え方、ペース、シラバスが合わないときもあることに気づきました。その上に、まだ3年生なので授業のレベルも考えないといけません。300レベルをたくさん取らなければ日本に帰ってきたら卒業に必要な単位数がたりなくなります。法政大学で社会学に集中していましたが、卒業後は法律学校に行きたいからUNRで刑事司法について勉強したい目的で留学に応募しました。しかしながら、刑事司法は知識が全くなく先に100と200レベルのprerequisitesをとるべきです。300や400レベルをとっても内容が難しすぎてついていけなくなります。別の件ですが、想像もしなかったアメリカの教科書が値段が高くて通常の価格だと秋学期のみ500ドルかかりそうです。そのため、安い本屋を探して、ある授業を削って何とかその教科書代を抑えるように色々と考えなければなりません。まだ2週間目なのにお金がだんだんなくなっていきます。</p> <p>3.その他(今、感じていること~心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>出発の三日前にUNRからのメールが届きました。そのときは、初めて、24日までに6500ドルを払わなければならないと書いてありました。知った時点で頭が真っ白になりました。必要な費用があるとわかっていましたが6500ドルとは思っていませんでした。もし、そのメールが1ヶ月前にきたらまだ時間がありましたが出発の三日前は直前過ぎます。お金の準備が間に合わなかったらどうしようと思いました。派遣留学が決まったという手紙から数ヶ月ワクワクしていた気持ちが一気にただの不安になりつつ、出発の準備に全然集中できなかったです。リノに着いてからもほぼ2週間次々と問題が出てきたり正直に言いますとあまり寝れなくて食欲もなくなりました。</p> <p>しかし、一緒に留学にきた内海るなと現地ですきた友達やルームメイトのおかげで心配事が多くても楽しい思い出を作ることができました。BBQ、Club Fair、Job Fair、Block Party、Football gameなどの様々なイベントに行ったり落ち込むよりできるだけたくさん体験しようとしています。自分自身に、最初は大変かもしれないけど、授業が本格的に始まってこちらの生活に慣れてきたら良くなると言い答えています。先週、ルナが毎晩「頑張れ、わたし!」と鏡の前に言っているのを見て自分も元気がつきました。私も頑張らなきゃと決めました。</p>